


審査結果報告書

2023年1月31日

主査氏名 神谷健太郎 

副査氏名 高橋香世子 

副査氏名 渡邊裕之 

副査氏名 天野 暁 

1. 申請者氏名 : DM19026 山田隆一郎

2. 論文テーマ :

回復期リハビリテーション病棟入院中の脳卒中患者の身体活動量の実態：歩数計測の精度と病棟内の自発的な身体活動に関連する因子の検討

3. 論文審査結果 : 合格

本論文は、入院・入所中脳卒中患者の身体活動量の測定精度と活動量に関連する因子に関する検証が十分に行われていないことに着目し、検証を行った有意義な臨床研究である。

先行研究では、地域在住の脳卒中患者を対象とした身体活動量に関する研究が行われてきているが、入院中の脳卒中患者に対する研究は十分に行われておらず、また、近年汎用されている三軸加速度計の測定精度についても脳卒中患者では十分にその精度が検証されていない。

このような未解決課題に対して、本研究ではまず、状態の安定した脳卒中患者23名を対象にその測定精度を検証し、歩行速度が約0.4m/sec以上であれば高い精度で歩数測定が可能であることを明らかにした。その後、歩行速度が0.4m/secの回復期の脳卒中患者96名を対象として入院中の歩数に関連する因子を検討し、麻痺側の身体機能の影響が強いこと、また、その影響は認知機能が低い患者の方がより影響が大きいことを明らかにした。

本研究で明らかとなった知見は、入院中の脳卒中患者の身体活動量を正しく把握し、介入する上で重要な知見であり、その臨床的意義は高い。よって、本論文は博士号の学位に値すると判断された。